

科目名：歯科診療補助論 II-2		必	1 単位 (45 時間)
(Assisting for Dental Practice II-2)			
履修年次/時期：1 年次 後期		授業形態：演習	
主担当教員：劉 彦君（実務経験 歯科医師 3 年：実務経験から診療補助・介助法など臨床に対応できる診療補助法が身につけられるよう授業を行って行く）			
担当教員： 小堀 陽子、金子 和美			
学修目的	「歯科診療補助」は歯科衛生士の主要な業務の1つである。歯科診療補助論Ⅱ－1 およびⅡ－2 で基礎的技術を学修し、基礎的理論は歯科診療補助論Ⅲで学修する。歯科材料と器具の取り扱いについて、基礎的理論と基礎的技術を理解し、歯科診療が円滑に進められるよう診療補助・介助法を学び、臨床に対応できる診療補助法を修得する。 CP2,3,4,5,6 に関連する。 科目 No.S1C12H28		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	（1）生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		（2）医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	（1）教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		（2）専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		（3）社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	（1）多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		（2）優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	
		（3）歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
	到達目標	1. 各種材料の取り扱いを学び、歯科診療の補助・介助ができる。 2. 各種器具の取り扱いを学び、歯科診療の補助・介助ができる。	
授業概要	歯科診療の補助・介助を責任もって行う為に歯科材料および器具の取り扱いについて学ぶ。歯科診療において材料や器具の種類は数多くある。それぞれの特徴を理解し適切に取り扱いしなくては診療がスムーズに行われない。材料や器具について数回ずつ実習し、技術を修得する。		
評価方法	1. 筆記試験（80％） 2. レポート提出、ルーブリック、実習参加度、実技など（20％） 以上を総合評価し、単位認定を行う。 フィードバックの方法 筆記試験：掲示で行う レポート・実技：個別に行う		
予習・復習時間	【予習】0.2 時間 【復習】0.2 時間		
教科書	A：歯科衛生士学シリーズ 歯科診療補助論 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社 B：歯科衛生士学シリーズ 歯科材料 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社		
参考書	歯科衛生士学シリーズ 歯科機器 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社		

	臨床科目の教科書 図書館に関連図書が多く揃っています。参考にしてください。随時紹介いたします。					
お問い合わせ- 連絡先	劉 彦君	月～金	16：30～17：00	3号館2階	劉研究室	ryu@kdu.ac.jp
	小堀 陽子	月～金	16：30～17：00	3号館2階	教員研究室	kobori@kdu.ac.jp
	金子 和美	月～金	16：30～17：00	3号館2階	教員研究室	@kdu.ac.jp
	* 不在時はメールにてご連絡下さい。					

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2	【歯科材料取扱い(1)】保存系材料 各種歯科材料の適切な取り扱いができる ①根管用シーラーの目的および練和方法を修得する ②ベースセメントの目的および練和方法を修得する ③セメント用シリンジの取り扱いを修得する ④スーパーボンドの取り扱い方法を理解する	予習：A129～132、222～231、B79～82、 復習：セメントの目的と種類 キーワード：セメント用シリンジ、根管用シーラー、接着性レジンセメント	演習 劉 ○小堀 金子
3・4	【歯科材料取扱い(2)】補綴系材料 各種歯科材料の適切な取り扱いができる ①トレーレジンを使用し模擬義歯を作製する ②適合試験材の目的および練和方法を修得する ③粘膜調整材の目的および練和方法を修得する ④歯周バックの目的・練和方法および取り扱いを修得する	予習：A137、B152～155、168 復習：セメントの目的と種類 キーワード：適合試験材、粘膜調整材、歯周バック	演習 劉 ○小堀 金子
5・6	【口腔内写真撮影法】 1. 口腔内写真撮影の目的を理解し、基本的な撮影法を修得する 2. 口腔内写真撮影の補助ができる ①口腔内写真撮影の目的を説明できる ②撮影用機材の取り扱いができる ③適正なピント合わせ、構図が工夫できる ④5枚法で口腔内写真撮影ができる ⑤口腔内写真撮影の補助ができる	予習：A92～95、『歯科機器』38～40、 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』168～170 復習：口腔内写真撮影の意義、撮影アシスタント法 キーワード：口腔内写真、5枚法	演習 劉 ○小堀 金子
7・8	【情報管理保管法】 診療室で取り扱う様々な情報の管理方法および保管法を修得する ①客観的情報から口腔内の状態を把握できる ②スタディモデルを5枚法で写真撮影し、保管できる ③各種情報の管理方法を説明できる	予習：A92～95 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』168～170 復習：情報の管理方法	演習 劉 ○小堀 金子
9・10	【暫間修復物作製法】 暫間修復の目的および作製方法を理解する ①暫間修復の目的を説明できる ②暫間修復物を作製できる ③常温重合レジンの取り扱いと後始末ができる ④患者様に対して適切な助言ができる	予習：B120～125 復習：目的、術式 キーワード：暫間修復、暫間修復物、ポリカーボネイト既成冠、常温重合レジン	演習 劉 小堀 ○金子
11・12	【ラバーダム防湿法】 ラバーダム防湿の意義、目的、必要器材の名称および用途を理解し、的確な装着法を修得する ①防湿法の目的と方法が理解できる ②顎模型上で臼歯部1歯装着（有翼・無翼）法を修得する	予習：A99～105 『歯科機器』92～94 復習：術式 キーワード：ラバーダム防湿	演習 ○劉 小堀 金子

	③顎模型上で上顎前歯部装着法を修得する ④器具の滅菌消毒および管理法が理解できる		
13・14	【歯冠修復材取り扱い（1）】 コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復の流れを理解し、材料および器具の取り扱いを修得する ①各種成形歯冠修復材の充填に必要な器材の準備ができる ②各種成形歯冠修復材充填の術式に合わせて診療補助ができる ③各種成形歯冠修復材の取り扱いおよび保管方法を理解する ④歯牙の状態に適したラバーダム防湿ができる	予習：A236～239、B90～95 復習：コンポジットレジン（CR）修復 グラスアイオノマーセメント修復の術式 キーワード：コンポジットレジン、プライマー、ボンディング材、グラスアイオノマーセメント	演習 ○劉 小堀 金子
15・16	【歯冠修復材取り扱い（2）】 コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復の流れを理解し、材料および器具の取り扱いを修得する ①各種成形歯冠修復材の充填に必要な器材の準備ができる ②各種成形歯冠修復材充填の術式に合わせた診療補助に習熟する ③各種成形歯冠修復材の取り扱いおよび保管方法に習熟する ④安全に配慮したラバーダム防湿に習熟する	予習：A110～114、236～239、B90～95 復習：コンポジットレジン（CR）修復、グラスアイオノマーセメント修復の術式 キーワード：コンポジットレジン、プライマー、ボンディング材、グラスアイオノマーセメント	演習 ○劉 小堀 金子
17・18	【咬合調整・研磨】 咬合調整および修復物研磨時に使用する器材を理解し、マイクロモーター用ハンドピースの取り扱いを修得する ①マイクロモーター用ハンドピースの取り扱いができる ②修復物の咬合調整・研磨に使用する器材を説明できる ③修復物の咬合調整および研磨ができる ④暫間修復物の仮着ができる	予習：B120～125 『歯科機器』78-83 復習：マイクロモーター用ハンドピースの取り扱い キーワード：咬合調整、マイクロモーター用ハンドピース、カーバイトバー、ホワイトポイント、シリコーンポイント、	演習 劉 小堀 ○金子
19・20	【総まとめ演習】 各種歯科材料および歯科器具の取り扱いについて復習し、歯科治療における診療補助を修得する ①アシスタントとしてのバキューム操作およびライティングに習熟する ②寒天印象材（カートリッジタイプ）とアルジネート印象材の連合印象 1 回法による精密印象採得法に習熟する ③連合印象 1 回法の診療補助ができる ④各種仮封材の練和ができる	予習：A110～132、B43～50 復習：寒天印象材、仮封材、バキューム操作 キーワード：連合印象 1 回法、寒天印象材、アシスタント	演習 ○劉 小堀 金子